



今年度も残りわずかとなりました。この一年を振り返り、一人ひとり、自分のペースで大きく、たくましく成長した姿に嬉しさを感じているこの頃です。りすぐみ最後の4ヶ月。安心して進級できるようにしずくうさぎぐみの生活を取り入れていきたいと思ひます。

りすぐみでの成長

「食事」

「こぼさず食べる」という目標からスタートしたりすぐみ。今では食器を運んだり、車に見立てた食器の配置も意識できるようになりました。今は食具の下手持ちを頑張っています。うさぎぐみ思わす「手でパック」とする姿もまだまだ見られます。下手持ちは鉛筆の持ち方にもつながりますので、お家でも意識していただくと良いですね。

「心」

「自分でできる!」ご家庭でもこの一年よく聞かれたのでは? ないでしょうか? 洋服の着脱や食器の片付け、外出遊びの身支度(靴下、靴、帽子、上着)、帰りの仕度等、この一年で身の回りのことがたくさんできるようになりました。「自分で!!」は自信がついてきている証拠です。新しいことも「やってみよう!」の心が大きく育ちました。

「遊び」

好きな玩具や遊びを楽しみ、姿から遊びを通してお友だちと関わりをもち、おしべりを楽しみながら一緒に遊ぶ姿が多く見られるようになりました。お昼寝、さんごや病院さんごなどのごっこ遊びでは役にはなきて楽しんでます。おくりくまさんやかくはんぼ、イスとゲームやだるまさんがころんだ等、ルールの遊びもたくさん楽しみました。今では子ども同士でルールのある遊びを楽しむ様子も見られます。

「衣服の着脱」

「脱げな-い」「やて-」等の声があちからあちから聞かれお友だちをしてもらいながら着替えていた四月。今では一人で着脱し、脱いだ服を置く姿もよく見られるようになりました。今は服の前後を意識し、間違えたら自分でなおすことができるよう声をかけています。

「睡眠」

お昼寝の時間はみんなぐっすり。毎日子ども達の寝顔に癒されている担任です。この姿は四月から変わりません。

